

地域住民の健康維持に役立つように NPO法人はるか 言語聴覚士の知識や技術を生かす事業

事業目的

言語聴覚士(聞く・話す・食べるのリハビリ職)は希少であり、必要でも地域住民が関わる機会が少ない。

この事業を通して地域住民と言語聴覚士が関わる機会を設け言語聴覚士の知識や技術を生かしたい。

現状

地域で活動する言語聴覚士は少なく、職種としての知名度も低い。
一方「うまく食べられない」「うまく話せない」子供や高齢者は多い。

目標

相談窓口や対象者の集いの場を提供して、言語聴覚士の知識や技術を提供。
広報を通して言語聴覚士に関する啓発をする。

活動と成果

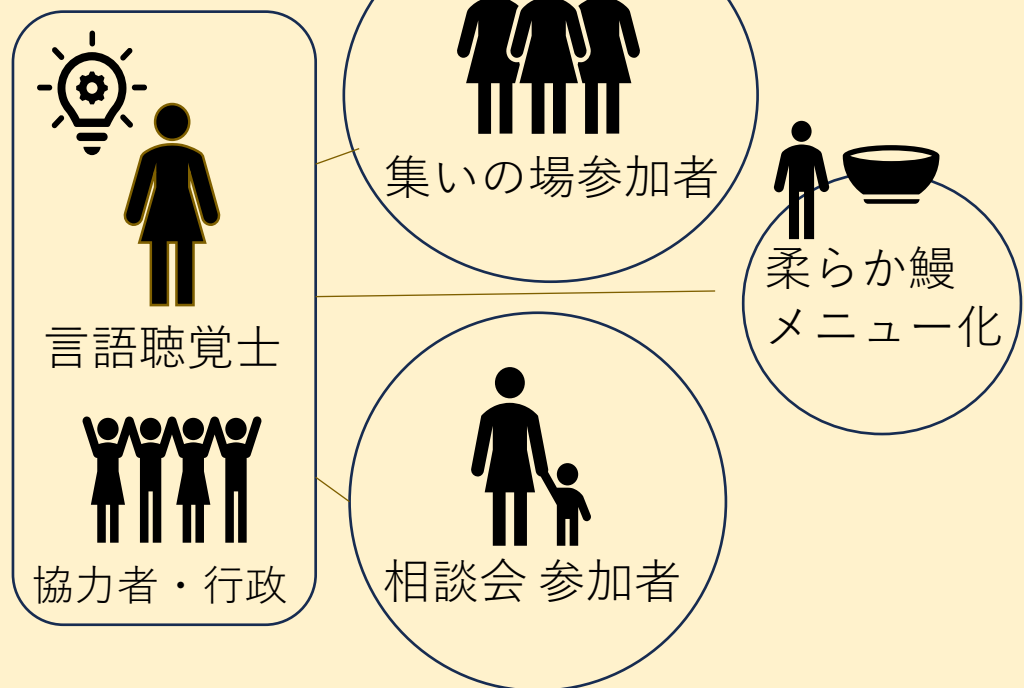
言語聴覚士無料相談会
5回開催 のべ6組参加
集いの場
3回開催 のべ47名参加
協力を得られた言語聴覚士
のべ4名



新聞掲載！柔らか鰻(沼津うなよし)
加齢・病気・ケガにより、かむ力、
飲み込む力が弱まった人も
『見た目/味は同じでも柔らかいうな丼』



人の関わり



振り返り課題

「よかった」という感想が多く、言語聴覚士のニーズがあることが分かった。
事業の広報がうまくいかなかったので広報手段の再検討が課題。